

第一学期終業式「式辞」

1年生から2年生になった2名の全校生徒でスタートした、令和3年度の72日間に及ぶ1学期が本日無事に終了することができます。卒業生がいなくなって寂しく思っていたのもつかの間、日々の学校生活では、2人きりで行うことがたくさんあって、あっという間に毎日が過ぎていった感じがします。今年度になって、環境が変わり2人の行動には責任感が出てきました。先生方の助言を受けながらも、自分たちでこの湯本中学校を盛り上げようとする意欲も感じられてきました。とても素晴らしいことです。

さて、今年の1学期も新型コロナウイルス感染拡大防止のために、「たいお・う・し・て・マス・か」を合い言葉に新しい生活様式の中での学校生活を送りました。その中にもあっても、対外的には地区陸上大会や地区中体連卓球大会など、昨年度行われなかったことを、何とか実施することができました。その裏側には、みなさんの一度きりのかけがえのない中学校生活を思い出深いものにしてほしいという周りの人たちの願いがありました。本当に心から感謝せずにはられません。

また、今年度の1学期は、いろいろなことを経験することができました。3年に一度の二岐山登山。英語学習の成果を試したブリティッシュ・ヒルズ学習。そして、何と言っても今年度より本校で取り組み始めたアントレプレナーシップ学習です。みなさんであれば自分の考えを表現することができると思って始めた取り組みです。

毎回のアントレの活動では、粘り強く自分の考えを実現するために、知恵を絞って試行錯誤しながら取り組んでいる姿を見ることができました。また、自分の考えにこだわりを持ちつつも、他の人の意見を柔軟に取り入れて前に進んでいる姿に、たくましさと感じました。来学期も地区文化祭での発表に向けて積極的に取り組むことを期待しています。

さて、明日から35日間の夏休みが始まります。夏休みの計画は確認できていますか？夏休みは、部活動や学び舎などの諸活動がありますが、大部分はそれぞれの家庭で過ごすこととなります。是非、家族の一員として、その役割を果たしながら過ごしてください。

人間は弱いところがあるので、自分の計画にしたがって完璧に過ごせる気持ちの強い人ばかりではありません。そのような時には、計画通りに進まなかったことを含めて計画を立て直し、前向きにもう一度取り組んでみてください。つまづいたって、もう一度やり直せばいいのです。そのような小さな経験を積み重ねることで強い気持ちが育ってくるものです。

最後に、夏休み明けに、みなさんの心と体がさらに成長して元気に登校してくれることを願って、式辞といたします。

令和3年7月20日

天栄村立湯本中学校長 渡部 幹雄